



平成19年度浄水場等設備技術実務研修会（第1回：6月4日～6月8日、第2回：7月2日～7月6日）

浄水場・給水所等の運転管理に携わる技術系職員の方々15名の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターの訓練用設備を利用して、実際にポンプの分解組立等、機器類の運転・操作を実習するとともに設備機器の保守・管理の実務について、研修を実施した。

平成19年度水道技術者ブロック別研修会（札幌市：6月5日～6日、山形市：6月7日～8日、千葉市：6月12日～13日、静岡市：6月14日～15日、和歌山市：6月19日～20日、下関市：6月21日～22日、沖縄市：6月28日～29日）

水道の維持管理に万全を期することを目的に、全国の水道関係技術者約550名の参加を得て「水道概論」、「水道維持管理」、「水質衛生管理」、特別講演「水道施設池状構造物の改良について」について研修を実施した。

平成19年度水道事業事務研修会（経営部門、初級コース）（6月12～15日）

正会員及び賛助会員の事務職員（水道歴概ね3年未満）の方々71名の参加を得て、「水道概論」、「水道経営」、「予算及び決算・演習」、「水道料金・演習」、「経営分析・演習」、「水道事業における公費負担のあり方」、「水道事業における消費税及び地方消費税の会計処理」について、経営の実務を中心とした研修会を実施した。

平成19年度水道事業事務研修会（労務部門）（6月18日～22日）

正会員の事務職員の方々25名の参加を得て、「水道概論」、「水道事業における第三者委託」、「地方公務員法と公務員の責務」、「管理・監督者のあり方」、「再任用制度について」、「地方公営企業の労使関係」、「最近の労働判例」、「地方公営企業職員の労務管理」、「事例研究・討議」について、労務の実務を中心とした研修会を実施した。

また、研修会最終日にグループ別ディスカッションが行われ、活発な情報交換が行われた。

第218回衛生常設調査委員会（6月19日）

1) 報告事項

最近の水道行政について厚生労働省 立川水道水質管理官から、①水質基準項目等へ塩素酸及び従属栄養細菌を、平成20年4月を目途に追加予定 ②精度管理調査結果について20条検査機関を対象とした格付けの公表 ③パーフルオロオクタン酸（PFOA）等に関する情報などについて説明を受けた。

2) 審議事項

水道用無溶剤形エポキシ樹脂塗料塗装方法（JWWA K 157）及び水道用ダクタイル鋳鉄管合成樹脂塗料（JWWA K 139）の衛生部門改正案について審議し、承認された。



平成19年度漏水防止講座（第1回：6月25日～6月27日）

水道事業及び賛助会員の漏水防止に従事する技術職員の方々79名の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターにおいて研修会を実施した。第1日目及び第2日目に「漏水防止概論」、「漏水防止の現状と課題」、「漏水防止作業」、「漏水探知技術」、「これからの漏水防止」について講義があり、第3日目には、漏水防止関連機器を使つての実地研修を行った。

第18回水道 GLP 認定委員会（6月26日）

福山市水道局の水道 GLP 認定について審議を行い、審議の結果、水道 GLP 認定を決定した。

平成19年度新任水道事業管理者研修会（6月27日～6月29日）

就任間もない事業管理者及び責任者の方々49名の参加を得て、「水道事業の今日的課題」、「水道事業の現状と課題」、「地方公営企業をめぐる諸問題」、「水道経営と料金のあり方」、「水道事業における労働法体系並びに労務管理」、「地方公営企業の労使関係」、「水道事業と争訟」、「水道事業における危機管理」について、それぞれの科目に造詣の深い講師より講義が行われた。



また、研修会の最後にディスカッションが設定され、活発な情報交換が行われた。

第4回調達方式検討小委員会（6月27日）

議題「調達方式検討小委員会中間報告書」を上程し、各委員から出された修正内容について審議した。本小委員会での審議結果を踏まえ、7月13日に開催を予定している第3回「水道事業における調達方式のあり方に関する検討会」へ中間報告を行う。



第855回会誌編集委員会（6月28日）

本誌の7月号、8月号の編集方針、投稿原稿の審査及び新規投稿原稿について審議し、有効賞の選考について事務局から報告し了承した。

第88回機械・電気・計装専門委員会（7月4、5日）

検討課題である「水道設備における環境保全取組事例集」（仮称）の原案作成のための構成及びアンケート方法等について、審議を行った。



平成19年度配管設計講習会（7月4日～7月6日）

水道事業体職員又は設計業者等の経験の少ない水道技術者の方々60名の参加を得て、「配管設計のあらまし」、「設計・積算の実務知識」、「製図の基本」、「管路の製図演習」について研修を実施した。



第1回水道施設の事故事例検討専門委員会（7月5日）

専門委員会設置の経緯を説明し、「水道施設の事故事例集（仮称）」の作成方針、事故事例の収集方法、今後の日程等について審議した。



第611回抄録委員会

本誌10月号、11月号に掲載する抄録の内容及び9月号、10月号に掲載する文献目録について審議した。

第157回工務常設調査委員会（7月9日）

1. 日本水道協会規格に関すること

水道用塗料等に関する規格専門委員会において、水道用無溶剤形エポキシ樹脂塗料塗装方法（JWWA K 157）及び水道用ダクタイル鋳鉄管合成樹脂塗料（JWWA K 139）の規格原案を作成することとした。

2. 技術的な調査研究に関すること

現行の指定給水装置工事事業者制度の課題解決など、給水装置を使用するお客様への安全・安心な給水確保を目的として、指定給水装置工事事業者制度の運用等に関する専門委員会を設置することとした。

また、昨年8月に発生した広島県送水施設（トンネル）崩落事故をケーススタディとして今後の課題等を取りまとめた報告書について審議した。

この他、水道事業ガイドライン推進室の開設、能登半島地震に係る対応等について報告した。



JIS マーク表示制度認証授与式（7月9日）

第10回 JIS 製品認証業務判定委員会（6月20日）にてシーケー金属(株)、(株)ダンレイの初回審査適合性に関わる判定について、それぞれ適合となり、このうち(株)ダンレイに対する JIS 製品認証マーク表示制度・認証書授与式が行われた。



平成19年度水道事業事務研修会（経営部門、中級コース）（7月9日～13日）

正会員及び賛助会員の事務職員（水道歴概ね3年以上）の方々74名の参加を得て、「水道概論」、「水道経営」、「予算及び決算・演習」、「水道料金・演習」、「経営分析・演習」、「水道事業における公費負担のあり方」、「水道事業における消費税及び地方消費税の会計処理」について、経営の実務を中心とした研修会を実施した。

また、研修会最終日にグループ別のディスカッションが行われ、活発な情報交換が行われた。

第16回 給水システムにおける水量管理に関する調査専門委員会（7月10日）

水道メーターの経年変化調査についての報告及び新 JIS 規格対応メーター性能に関する試験調査方法について審議を行った。

第58回中小規模水道問題協議会（7月12日）

はじめに、議題として座長・副座長の選任を行い、座長に伊賀市 濱管理者、副座長に光市 福島管理者を選任した。続いて、厚生労働省健康局水道課 塚田課長補佐より「水道事業の現状と課題」、東京都水道局総務部 芦田副参事より「東京水道長期構想及び水安全計画」について講演が行われた。その後、「簡易水道事業に対する国庫補助のあり方」や「資金運用」について、それぞれ情報交換を行った。



第3回水道事業における調達方式のあり方に関する検討会（7月13日）

人事異動により副委員長が不在であったため、委員長の指名により東京都の原菌委員が副委員長に就任した後、議事に入った。

議題①「調達方式検討小委員会中間報告」、議題②「総合評価導入検討小委員会中間報告」、議題③「業務委託等検討小委員会中間報告」について、それぞれ小委員会の委員長から報告があった。



審議の結果、本検討会において出された要望事項を踏まえて、各小委員会は今後最終報告に向けて検討に入ることとなった。